

授業科目

視覚機能学I

担当教員名 谷 佳子、板東 武彦 (非)、橋本 勇希 (非)	対象学年	1	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

正常な両眼視機能の発達や日常視における眼位の種類を学習する。快適な日常視が営まれるための眼球運動の成立や外眼筋の作用について基礎知識を学ぶ。

授業の目的

今後、眼科検査を学ぶにあたり基礎となる分野である。基本的な理論を学習し、視覚機能学の基礎を習得する。

学習目標

1. 眼位の成り立ちを理解できる。
2. 両眼視機能について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス 眼位の定義と種類	講義	谷 佳子
2	斜視、斜位の種類	講義	谷 佳子
3	外眼筋の解剖	講義	谷 佳子
4	外眼筋の神経支配	講義	谷 佳子
5	外眼筋の作用	講義	谷 佳子
6	単眼運動、両眼運動 眼球運動の法則	講義	谷 佳子
7	両眼視の定義 両眼視と単眼視	講義	橋本 勇希
8	両眼視機能の発達 両眼視の利得	講義	橋本 勇希
9	日常両眼視の成立要件	講義	橋本 勇希
10	輻湊の四要素 日常の両眼視眼位の成立	講義	橋本 勇希
11	生理的複視とホロプター円 Panumの融像感覚圏	講義	橋本 勇希
12	眼位異常に伴う病的複視	講義	橋本 勇希
13	調節のメカニズム 毛様体と水晶体の働き	講義	板東 武彦
14	輻湊、開散の定義 近見反応のメカニズム	講義	板東 武彦
15	まとめ	講義	谷 佳子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	基礎生理光学と同じ
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 70%
小試験 20%
提出物 10%

履修上の留意点

締切を過ぎた提出物は原則として受け取らない。
再試験、追試験は必要があれば原則1回のみ実施する。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み
P201
yoshiko-tani@nuhw.ac.jp